



1歳時の便秘と、3歳までのアトピー性皮膚炎の関係

何を調べたの？

アトピー性皮膚炎の子どもは、腸の中の細菌のバランスがかたよっており、このかたよりは便秘にも関係しているといわれます。そこで、**1歳時に便秘がある子どもは、その後アトピー性皮膚炎になりやすいか**を調べました。

対象は？

エコチル調査に参加した子どものうち、生まれつき病気のあった子どもや、データが不足していた子どもをのぞいた約6万2千人を対象にしました。

どうやって調べたの？

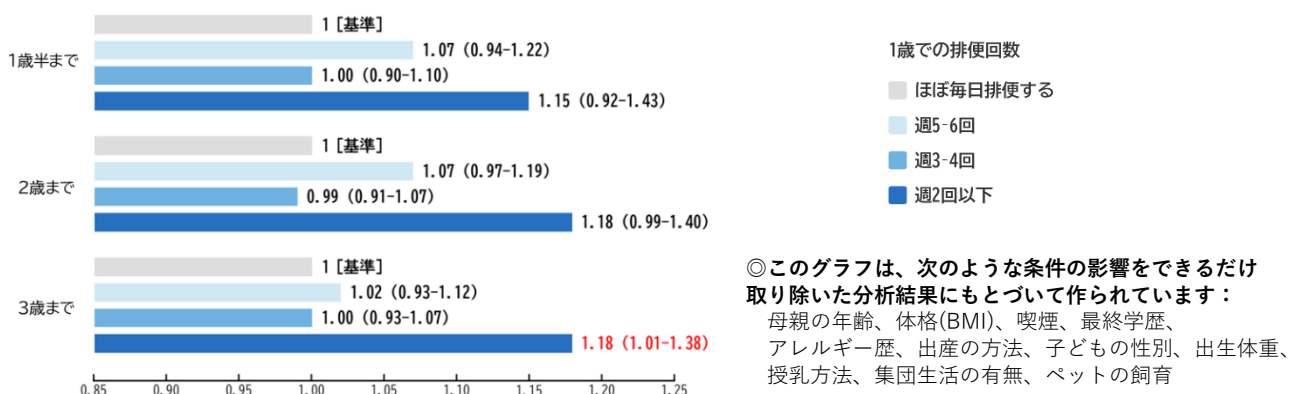
1歳での排便回数を「ほぼ毎日」「週5～6回」「週3～4回」「週2回以下」に分け、「週2回以下」を「便秘」としました。アトピー性皮膚炎は保護者の回答や医師の診断に基づき調べました。1歳半までの便秘と、1歳半～3歳にアトピー性皮膚炎になるかどうかの関係を分析しました。

どんな結果が出たの？

1歳半～3歳に**22.6%の子どもがアトピー性皮膚炎**になりました。

1歳で便秘だった子どもは、ほぼ毎日排便する子どもに比べ、3歳までに**アトピー性皮膚炎になる可能性が18%高**くなりました。

1歳での排便の回数とアトピー性皮膚炎のなりやすさの関係



<グラフの見かた>

横軸：多変量オッズ比 アトピー性皮膚炎のなりやすさを表します。「ほぼ毎日便が出る」を基準として、排便回数が少ないほど値は大きく(グラフが右に長く)なり、アトピー性皮膚炎になりやすいことを示します。

○内の数値：95%信頼区間 「本当の値が入っていそうな範囲」を示します。この範囲が**1をまたがない時**、その結果は「はっきり差がある」と言えます。(3歳までのグラフの、赤色の数値。)

今後の課題は？

- ・便秘を排便回数だけで判断しており、国際的な診断基準とは異なります。
- ・保護者の答え方により、排便回数の区分にずれが生じた可能性があります。(※論文の著者による補足です)
- ・抗菌薬の使用など、腸内環境に影響する要因は考慮されていません。
- ・3歳以降の発症もあるため、さらに調べていくことが必要です。

どんなことがわかったの？

1歳の時に便秘があった子どもは、3歳までにアトピー性皮膚炎になる可能性が少し高いことがわかりました。

<この研究論文>

The association between constipation and subsequent risk of atopic dermatitis in children: the Japan Environment and Children's Study. Takano Y et al. Environ Health Prev Med. 2023.